

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

1．実施した計画の基本的な事項

（1）基礎情報

ア．対象地域

構成市町村等名	六ヶ所村						
地域内総人口（人）	9,491						
地域総面積（km ² ）	252.68						
地域の要件	豪雪	半島					
地域の要件がその他の場合は 具体的に記載							
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称（設立年月日）							
組合を構成する市町村							

イ．計画実施期間

開始年月日	令和2年4月1日
終了年月日	令和7年3月31日
計画期間	5年

（2）対象地域における取組みに関する事項

ア．ごみ処理の広域化・施設の集約化の実施状況

確認した都道府県の 広域化・集約化計画の名称	

イ．プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

実施済の場合	実施地域	
	実施年度	
	実施方法	
	上記が④もしくは⑤の場合、その詳細	
実施しない地域		
プラ要件化対象事業の実施		
備考		

ウ．対象地域における一般廃棄物処理有料化の実施状況

有料化導入状況	
上記が④の場合、その詳細	
未導入の構成市町村名	
有料化導入に向けた検討状況 ※全ての構成市町村で導入済の場合は記載不要	

エ．対象地域における災害廃棄物処理計画の策定状況

策定状況	
策定済の構成市（計画の名称）	
未策定の構成市（策定予定時期）	
備考	

2 目標の達成状況

(一般廃棄物の処理)

減量化、再生利用に関する指標		現状	目標	実績	
		令和□□年度	令和7年度	令和▲▲年度	実績/目標
①総人口（人）					
排出量	事業系ごみ排出量（トン）				0%
	生活系ごみ排出量（トン）				0%
	1人1日当たりのごみ排出量（g/人日）	0	0	0	0%
	その他排出量（集団回収等）				0%
	総排出量（トン）	0	0	0	0%
	1人1日当たりの排出量（g/人日）	0	0	0	0%
再生利用量	総資源化量（トン）				0%
	総排出量に占める総資源化量の割合（%）	0	0	0	
最終処分量	埋立最終処分量（トン）				0%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合（%）	0	0	0	
エネルギー回収量	年間の発電電力量（MWH）				
	年間の熱利用量（GJ）				
特記事項					

※ 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、（実績の割合-現状の割合）/（目標の割合-現状の割合）を記載。

(生活排水の処理)

生活排水処理に関する指標		令和元年度現状		令和7年度目標		令和7年度実績	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
処理形態別人口	公共下水道	7,816人	76.6%	8,778人	87.6%	7,742人	81.6%
	農業集落排水施設等	818人	8.0%	777人	7.8%	607人	6.4%
	合併処理浄化槽等	303人	3.0%	210人	2.1%	321人	3.4%
	小計：汚水衛生処理人口	8,937人	87.6%	9,765人	97.4%	8,670人	91.4%
	単独処理浄化槽等		0.0%		0.0%	412人	4.3%
	非水洗化人口	1,263人	12.4%	261人	2.6%	409人	4.3%
	小計：未処理人口	1,263人	12.4%	261人	2.6%	821人	8.7%
	合計：総人口	10,200人	100.0%	10,026人	100.0%	9,491人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量						
	浄化槽汚泥量						
	合計	キロリットル		キロリットル		キロリットル	

3 目標達成に向けた施策状況

目標指標	目標達成への施策状況
ア. 一般廃棄物の排出量に関する事項	
イ. 一般廃棄物の再生利用量に関する事項	
ウ. 一般廃棄物の最終処分量に関する事項	
エ. 一般廃棄物のエネルギー回収量に関する事項	
オ. 処理形態別人口に関する事項	
カ. し尿・汚泥の量に関する事項	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全を図ることを目的とし、当該事業期間において浄化槽の設置を5人槽12基、7人槽3基、合計15基を予定基数としたが、実績は令和2年度に5人槽3基、7人槽1基、令和3年度に5人槽2基、7人槽2基、令和4年度に5人槽1基、令和5年度に5人槽3基、令和6年度に5人槽3基、7人槽1基、合計16基の設置となった。
その他	

4 目標の達成状況に関する評価

令和7年度の実績については、事業期間内の設置目標15基に対して、実績が16基となり、これにより、汚水衛生処理人口のうち、合併処理浄化槽は令和元年度現状303人に対し、令和7年度実績は18人増の321人となり、目標値である210人を上回る数値で目標を達成することができた。 今後、全体構成比の6.8%を占める単独浄化槽等及び非水洗化人口の未処理人口を削減するため、広報活動等の実施により浄化槽設置整備事業を住民に周知、活用してもらい、浄化槽の更なる普及を進め、公共用水域等の水質汚濁の防止を図る。
--

(都道府県知事の所見) 汚水衛生処理人口普及率は目標を達成できなかったものの、計画当初よりも向上し、目標に対して9割を達成している。また、浄化槽設置基数及び合併処理浄化槽等の汚水衛生処理人口は目標を達成しており、未処理の汚水処理人口の解消に一定の進捗があったと評価できる。 今後も浄化槽設置整備事業を着実に実施し、計画的・効率的に浄化槽の普及を進めるとともに、生活環境の保全に係る啓発等の取組を進め、残る未処理人口の早期解消及び生活環境の保全に努めていくことが重要と考える。

※令和7年3月31日までに承認された地域計画については、なお従前の様式にて提出できるものとする。